

受付番号

5

許可番号

大歯医倫 第 111037 号

研究課題名

外科的矯正治療に関する実態調査

研究責任者

中嶋 正博

申請者

中嶋 正博

研究終了日

2020 年 3 月 31 日

所属

口腔外科学第二講座

所属

口腔外科学第二講座

職名

主任教授

職名

主任教授

申請の概要

近年、顎変形症の外科的矯正治療も認知度を高め、日本国内で毎年約 3000 例の顎矯正手術が実施されるようになった。わが国における顎変形症に対する実態調査を行い、その調査結果を会員にフィードバックすることにより、顎変形症治療における施設間差を解消し、顎変形症に対する医療の質と安全性を向上させることを目的とし、さらには医療者と患者の相互理解に役立てることが期待できる。特定非営利活動法人日本顎変形症学会(以下、学会)が主体となり、わが国における顎変形症に対する実態調査(以下、本研究)を行う。研究対象は学会会員が所属するすべての医療機関において、顎変形症と診断され、2017 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日までの間に顎矯正手術を施行した患者を対象に、診療録および手術記録から年間実施例数、術式や合併症の有無、矯正歯科医と口腔外科医との連携体制、術前・後矯正治療の期間、歯科矯正用アンカースクリューの使用についてデータを診療録および手術記録より抽出し、学会のアンケート書式により調査を行う。情報は取得後直ちに対応表を用いて匿名化を行う。得られた情報は学会ホームページの会員専用ページに学会より送付されたログイン名とパスワードによりアクセスし、データを入力する。データセンターにて各調査項目に関し

---

て、臨床統計学的にデータの集計を行う。

本学では、各施設と同様に口腔外科 2 科において顎矯正手術を施行した患者についてデータ収集を行い、規定された期日にオンラインシステムにて登録を行う。